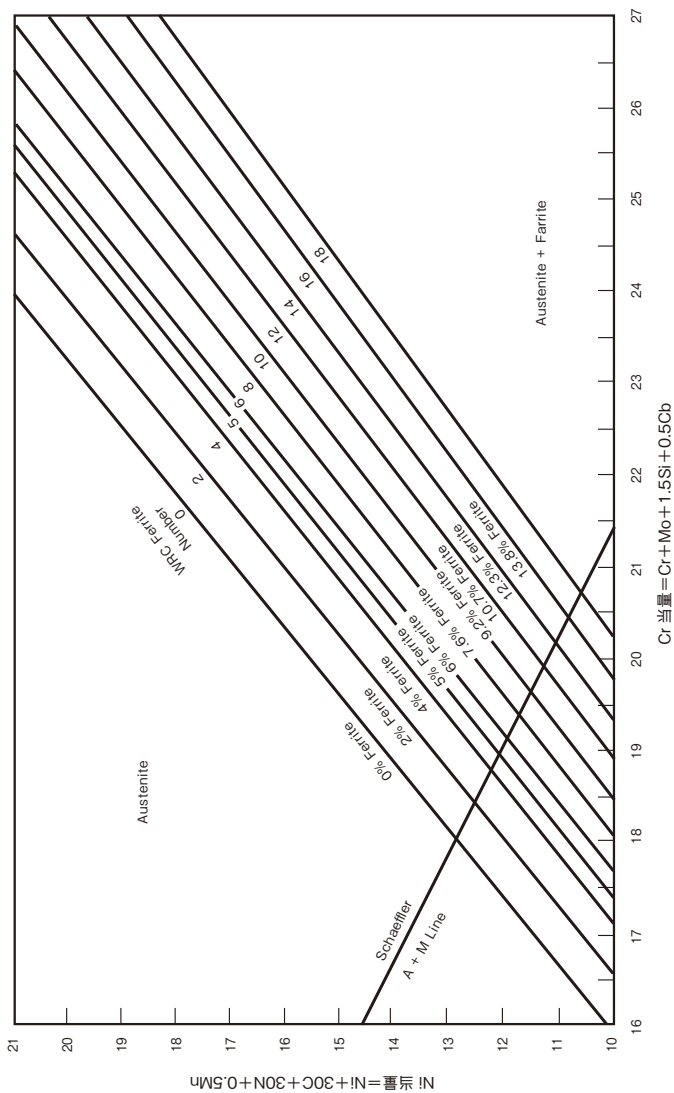


第12図 デイロングの組織図



(注) N量は実測値が望ましい。もし実測出来ない場合は次の適用するN量を使用しなければならない：
GMAW法—0.08%、GTAW法、SMAW法—0.06%